

2022年度

香川大学

瀬戸内圏研究センター

シンポジウム

瀬戸内圏研究センターが
令和4年度より目指すもの

参加費
無料

令和4年

12月13日(火)

13:30~17:00

主催 香川大学瀬戸内圏研究センター

開催方法 会場参加(定員25名)とオンライン参加による
ハイブリッド開催

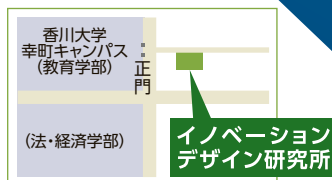
新型コロナウイルス感染症の状況次第では、開催方法の変更等の措置をとる場合もあります。また、感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止策を講じます。(参加者には、マスクの着用など、感染拡大防止対策の徹底に御協力いただきます)

会場

香川大学イノベーションデザイン研究所

高松市番町4丁目8-27(幸町キャンパスから徒歩1分)

駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用下さい。



申し込み方法

応募フォームにより
お申し込みください



申込期限

令和4年12月8日(木)まで

<https://forms.office.com/r/0TstLhsp2W>

※会場参加で申し込まれた場合でも、会場参加定員(25名)に達した場合は、オンライン参加とさせていただきますので、予めご了承ください。

※ご入力いただく個人情報は、瀬戸内圏研究センターが実施する講演会、シンポジウム等の案内に利用させて頂くことがございます。

お問い合わせ

香川大学 学術部 研究協力課

TEL:087-832-1312 FAX:087-832-1319

E-mail:kenkyust-h@kagawa-u.ac.jp



国立大学法人香川大学

2022年度 香川大学瀬戸内圏研究センター シンポジウム

— 瀬戸内圏研究センターが令和4年度より目指すもの

瀬戸内海が抱える様々な環境問題に歯止めがかからず、環境保全・修復は重要かつ緊急の課題となっています。

香川大学瀬戸内圏研究センターは、瀬戸内海地域の環境及び資源に関する諸課題に取り組むとともに、地域の特色を活かした産業振興を推進することにより、瀬戸内海の新たな価値を創造することを目的として、令和4年より瀬戸内海の「環境・資源研究」と「地域産業振興」に特化した新たなプロジェクト研究を始動させました。

今回はその内容についてご紹介するとともに、参加下さる皆様と意見交換したいと思います。

プログラム

13:30～	開会挨拶 香川大学理事・副学長 片岡 郁雄
13:35～	発表 「瀬戸内圏研究センターが目指すもの」 瀬戸内圏研究センター センター長 多田 邦尚
13:55～	発表 「スーパー珪藻の有効利用に向けて」 瀬戸内圏研究センター(農学部) 教授 一見 和彦
14:25～	発表 「AIを活用した瀬戸内海における資源生産力向上技術」 瀬戸内圏研究センター(創造工学部) 教授 末永 慶寛
14:55～	発表 「ワーケーションと地域DX」 瀬戸内圏研究センター(経済学部) 教授 原 直行
15:25～	休憩
15:35～	発表 「SDGsモデルの陸上養殖システムの可能性」 水産研究・教育機構 水産大学校 水産流通経営学科 教授 山本 義久
16:35～	総合討論
16:55～	閉会挨拶 瀬戸内圏研究センター センター長 多田 邦尚
17:00	閉会